

SIEMENS

SIMATIC

産業用 PC SIMATIC IPC677C

コンパクト版の操作説明書

安全ガイドライン

1

納品

2

設置/パネル取り付け

3

接続

4

試運転

5

サービスおよびサポート

6

法律上の注意

警告事項

本書には、ユーザーの安全性を確保し製品の損傷を防止するうえ守るべき注意事項が記載されています。ユーザーの安全性に関する注意事項は、安全警告サインで強調表示されています。このサインは、物的損傷に関する注意事項には表示されません。

 危険
回避しなければ、直接的な死または重傷に至る危険状態を示します。
 警告
回避しなければ、死または重傷に至るおそれのある危険な状況を示します。
 注意
回避しなければ、軽度または中度の人身傷害を引き起こすおそれのある危険な状況を示します（安全警告サイン付き）。
注意
回避しなければ、物的損傷を引き起こすおそれのある危険な状況を示します（安全警告サインなし）。
通知
回避しなければ、望ましくない結果や状態が生じ得る状況を示します（安全警告サインなし）。

複数の危険レベルに相当する場合は、通常、最も危険度の高い（番号の低い）事項が表示されることになっています。安全警告サイン付きの人身傷害に関する注意事項があれば、物的損傷に関する警告が付加されます。

有資格者

本書が対象とする製品/システムは必ず有資格者が取り扱うものとし、各操作内容に関連するドキュメント、特に安全上の注意及び警告が遵守されなければなりません。有資格者とは、訓練内容及び経験に基づきながら当該製品/システムの取り扱いに伴う危険性を認識し、発生し得る危害を事前に回避できる者をいいます。

シーメンス製品を正しくお使いいただくために

以下の事項に注意してください。

 警告
シーメンス製品は、カタログおよび付属の技術説明書の指示に従ってお使いください。他社の製品または部品との併用は、弊社の推奨もしくは許可がある場合に限りです。製品を正しく安全にご使用いただくには、適切な運搬、保管、組み立て、据え付け、配線、始動、操作、保守を行ってください。ご使用になる場所は、許容された範囲を必ず守ってください。付属の技術説明書に記述されている指示を遵守してください。

商標

®マークのついた称号はすべて **Siemens AG** の商標です。本書に記載するその他の称号は商標であり、第三者が自己の目的において使用した場合、所有者の権利を侵害することになります。

免責事項

本書のハードウェアおよびソフトウェアに関する記述と、実際の製品内容との一致については検証済みです。しかしなお、本書の記述が実際の製品内容と異なる可能性もあり、完全な一致が保証されているわけではありません。記載内容については定期的に検証し、訂正が必要な場合は次の版で更新いたします。

目次

1	安全ガイドライン	5
2	納品	7
2.1	納入物の開梱とチェック	7
2.2	装置の識別データ	8
2.3	製品マニュアル	8
3	設置/パネル取り付け	9
3.1	装置の取り付け奥行き	9
3.2	許容据え付け位置	10
3.3	据え付けカットアウトの作成	11
3.4	クランプ付き装置の固定	13
3.5	ネジによる固定	14
4	接続	17
4.1	接続エレメント	17
4.2	100 - 240 V AC電源の接続	20
4.3	(24 V) DC電源の接続	23
4.4	等電位ボンディング回路の接続	24
5	試運転	25
5.1	装置の電源スイッチ投入	25
5.2	Windows XP、Windows 7 セキュリティセンター	26
5.3	Microsoft Windowsオペレーティングシステムの設定	27
5.4	追加アプリケーション	27
5.4.1	タッチパネルのセットアップ	29
5.4.2	キーパネルの調整	30
5.5	BIOS設定	31
5.6	USB	31
5.7	画面キーボード(タッチパネルデバイス用)	32
6	サービスおよびサポート	33
	索引	35

安全ガイドライン



警告

緊急時

装置の異常が発生した場合は、直ちに電源を遮断してください。カスタマサービス担当者に知らせてください。オペレータコントロールや電源ケーブルが損傷したり、装置に液体や異物が入ったりすると、誤動作が発生する可能性があります。



警告

リスク分析の結果によっては、危険防止のため、マシンまたはシステムに他の保護機器が必要になります。これに関して、特に差し込んだ I/O モジュールのプログラミング、コンフィグレーションおよび配線は、必要なリスク分析で識別した安全パフォーマンス(SIL、PL または Cat.)に従って実行しなければなりません。対象となる装置の使用にあたっては、安全を確保する必要があります。

装置を正しく使用するためには、システムの機能テストを行って確認します。このテストにより、プログラミング、コンフィグレーションおよび配線のエラーを検出することができます。テスト結果を文書化し、必要に応じて、安全を証明する関連文書に記載します。

注記

この装置は、EU 低電圧指令および GPSG の規則に対応しています。このことは、UL 承認(cULuc)によって国内および国際標準(DIN EN、IEC)に適合していることによって証明されています。装置を組み立てる際は、この取扱説明書に記載されているすべての情報に従ってください。

電氣的接続



警告

介入前には、毎回装置を主電源から切り離してください。

雷雨の際は、電源ケーブルおよびデータ伝送ケーブルに触らないでください。また、どのようなケーブルも接続しないでください。

システムの拡張

システムの拡張には、この装置用に設計された拡張デバイスのみを設置します。それ以外の拡張デバイスを設置すると、システムを破損したり、無線周波数の雑音妨害抑制に対する安全上の要件や規則に違反する可能性があります。技術サポートチームまたはPCの購入店に連絡して、どの拡張デバイスが安全に設置できるかを確認してください。

注意

システム拡張をインストールしたり交換したりして装置を破損した場合は、保証が無効になります。

高周波放射

注意

意図しない動作状況

携帯電話などからの高周波放射は、場合によっては意図しない動作状況を引き起こす恐れがあります。詳細については、「技術データ」の章の「EMC要件」のセクションを参照してください。

リチウム電池の取り扱いと廃棄

警告

破裂して有毒物質を放出する恐れがあります!

リチウム電池の焼却、電池本体への半田付け、分解、短絡、極の逆接続、100°Cを超える加熱を行わないでください。処分は法令に従って行い、直射日光、湿気、結露から保護してください。

リチウム電池は、同じブランドまたはメーカー推奨のブランドのリチウム電池と交換してください。

使用済みリチウム電池は、地方自治体の条例に従って、個別に有害廃棄物として処分してください。

修理

許可された作業者のみが装置の修理を行えます。

警告

装置を未許可で開けたり不適切な修理を行ったりすると、装置が破損したりユーザーが人身傷害を被ったりする恐れがあります。

納品

2.1 納入物の開梱とチェック

1. 輸送中の損傷がないか納品時に梱包材をチェックしてください。
2. 納品時に輸送による損傷が見つかった場合、担当の出荷会社に対して苦情を申し立ててください。直ちに輸送中の損傷状況を搬送者に確認させてください。
3. 装置を開梱します。

注意

装置は背面を下にして置かないでください。背面を下にしないことにより、光学式ドライブがある場合に光学式ドライブへの損傷を避けることができます。前面パネルの USB ポートの損傷を避けるために、柔らかい面の上に前面を下にして置きます。

4. 再度ユニットを運搬する必要があるときのために、梱包材を保管しておいてください。

通知

梱包によって輸送中や保管中に装置を保護します。そのため、元の包装材は捨てないでください！
--

5. 同封のマニュアルは安全な場所に保管してください。初めて装置を起動する際にこのマニュアルが必要になります。
6. 梱包の内容物がすべて揃っており、輸送中の損傷がないかチェックしてください。同封の納品リストの範囲内ですべてが揃っているかチェックしてください。
7. 梱包の内容物が揃っていなかったり、損傷したりしている場合には、直ちに責任供給サービス業者に知らせ、同封様式「SIMATIC IPC/PG 品質管理報告書」を当社までファックス送信してください。

 警告

損傷した装置を設置したり、作動させたりしないでください。

8. 識別情報に注意してください(「装置の識別データ」の章を参照)。

2.2 装置の識別データ

2.2 装置の識別データ

装置の識別データを表に入力してください。

SVP 番号(型式プレート上)

注文番号

「ライセンス供与証明」(COA)の「Microsoft
Windows のプロダクトキー」
ラベルは装置に貼り付けてあります。

Ethernet アドレス:

[メイン | ハードウェアオプション | Ethernet
アドレス]の[BIOS セットアップ] (F2 キー)

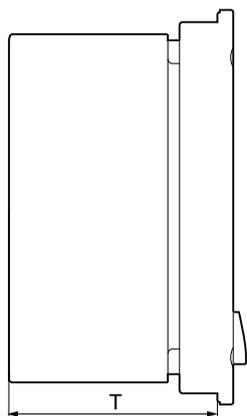
2.3 製品マニュアル

インターネットの次のアドレスで、装置の詳細な取扱説明書を PDF ファイルとしてダウンロードできます。

<http://www.siemens.com/automation/service&support>

設置/パネル取り付け

3.1 装置の取り付け奥行き



オペレータコントロールユニット付きパネル PC	奥行き D
12 インチ TFT 付きキーパネル	105 mm
15 インチ TFT 付きキーパネル	124 mm
12 インチ TFT 付きタッチパネル	123 mm
15 インチ TFT 付きタッチパネル	121 mm
15 インチ TFT INOX 付きタッチパネル	126 mm
19 インチ TFT 付きタッチパネル	130 mm

注記

光学式ドライブがある場合の追加の取り付け奥行き

装置に光学式ドライブが設置されている場合は、設置奥行きが 21 mm 増えます。

3.2 許容据え付け位置

承認

この装置には特定の取り付け位置のみが承認されています。

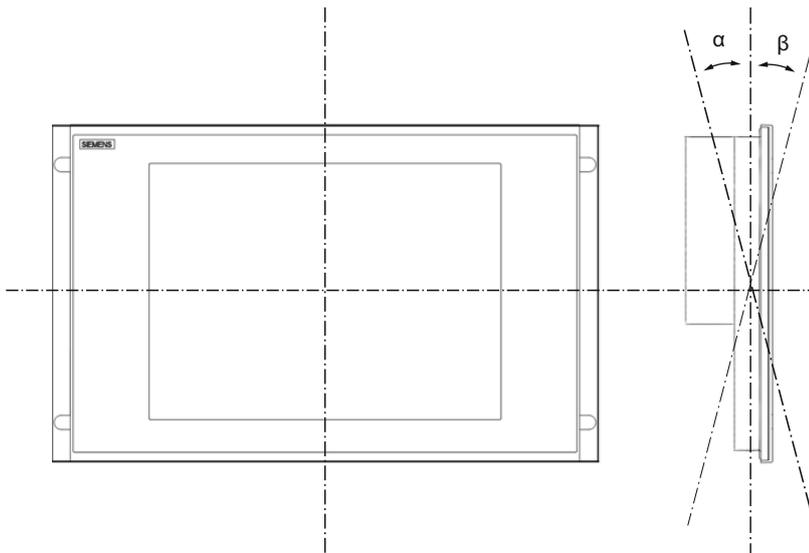


図 3-1 取り付け位置

表 3-1 垂直取り付け位置からの許容偏差

TFT	温度	角度 A	角度 B
12"; 15"	50°C以下 ¹⁾	20°	20°
19"	45°C以下	20°	20°

¹⁾ スロットの総負荷量が 15 W になる場合

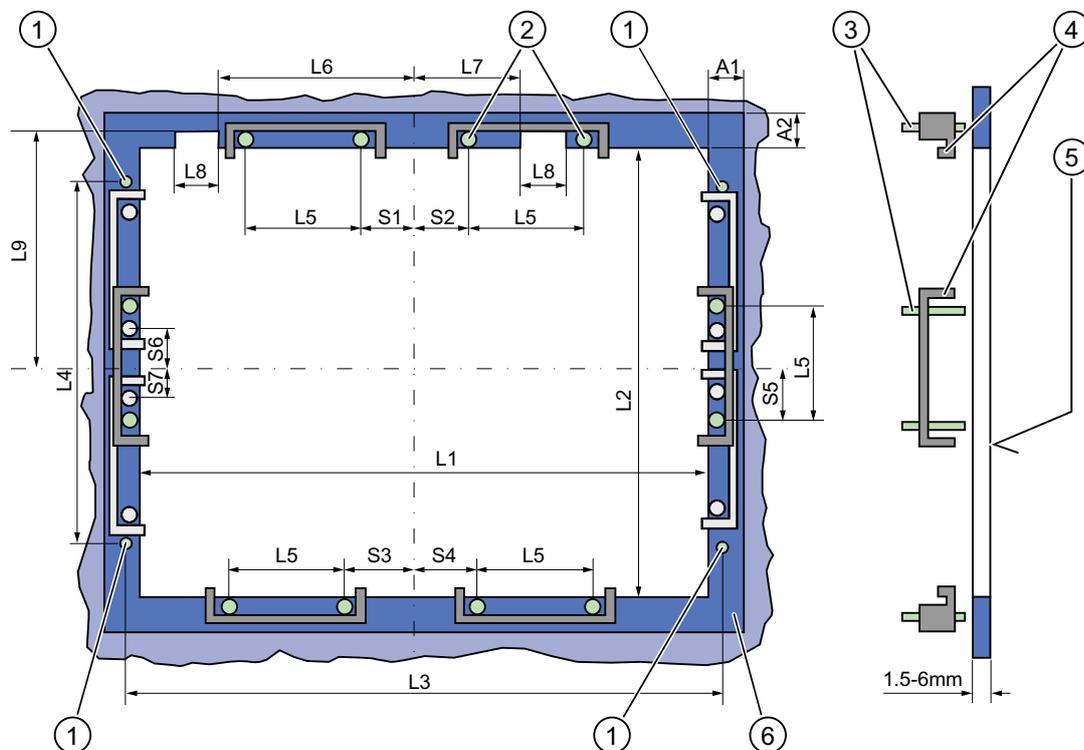
注記

装置を傾斜させて取り付ける場合は、次の点に注意してください。

- 装置が機械的圧力を受けないようにしてください。
- DVD ドライブの操作は許可されません。

3.3 据え付けカットアウトの作成

必要な据え付けカットアウトの寸法は次の図のとおりです。



- | | |
|--------------------|--------------------|
| (1) ネジ取り付けのためのドリル穴 | (4) クランプ |
| (2) クランプ用圧力点 | (5) シールエリアで Rz 120 |
| (3) 止めネジ | (6) シールエリア |

図 3-2 ネジ用ドリル穴とクランプスクリュー用圧力点

注記

据え付け寸法は寸法概要から読み取ることができるか、あるいは供給した据え付けテンプレートからキャビネットに移すことができます。

3.3 据え付けカットアウトの作成

表 3-2 据え付けカットアウトの寸法(mm)

制御 ユニット	L1	L2	L3 ¹⁾	L4 ¹⁾	L5	L6 ²⁾	L7 ²⁾	L8 ²⁾	L9 ²⁾	A1	A2	S1	S2 S3 S4	S5 ³⁾	S6 ³⁾ S7 ³⁾
許容差	±1	+1	±0.2	±0.2	±0.5	±0.5	±0.5	±0.5	+1	±1	±1	±1	±1	±1	±1
タッチ パネル															
12" TFT	450	290	465	235	112	—	—	—	—	16	10	78	78	56	—
15" TFT															
15" TFT INOX	450	321	465	279	112	186	135	25	165	16	17	51	51	56	—
タッチ パネル															
12" TFT	368	290	—	—	112	—	—	—	—	16	10	19	35	56	—
15" TFT	450	290	465	235	112	—	—	—	—	16	10	81	81	56	—
19" TFT	450	380	465	235	112	—	—	—	—	16	10	46	46	—	33

1) M6 ネジまたは直径 7 mm のドリル穴

2) 差し込みラベルの軸用カットアウトは 15"キーパネルでのみ必要です。

3) 垂直固定クランプで必要な 2 つのクランプは 19"タッチパネル前面用のみ。

据え付けカットアウトの作成

据え付けカットアウトの作成ステップ	
1	据え付け位置を考慮して、据え付けに適した位置を選びます。
2	寸法に基づき、据え付けカットアウトの完了後に背面とシールエリアの必要ネジと圧力点に容易に接近できるかをチェックします。接近できなければ、据え付けカットアウトは役立ちません。
3	寸法に従って据え付けカットアウトを完成させます。

3.4 クランプ付き装置の固定

必要条件

アクセサリ	表示		
	12"	15"	19"
クランプ	6 x	6 x	8 x
	制御ユニットにはクランプが付いています。		
ツール	2.5 mm 六角スパナ		

手順



図 3-3 クランプアセンブリ

1. 装置を電源から切り離します。
2. 前面から作業し、装置を回転アームの 19 インチラックまたは据え付けカットアウトに差し込みます。
3. クランプを使用して背面から制御ユニットを固定します。
4. 止めネジを 0.4~0.5 Nm のトルクで締め付けます。

保護等級 IP65

プラント建設者は装置を正しく設置する責任があります。
 保護等級 IP65 は、適切なサイズのカットアウトを使用してリングシールが正しく付けられ、装置が適切な位置に固定されており、かつ、次の指示が遵守されている場合に、装置の前面に対してのみ保証されます。

3.5 ネジによる固定

<p>通知</p> <p>制御キャビネットの設置:据え付けカットアウトの材料強度</p> <p>据え付けカットアウトの材料強度は、最小 2 mm、最大 6 mm になるようにしてください。「据え付けカットアウトの作成」のセクションにある寸法の仕様に従ってください。</p> <p>保護等級が保証されるのは次の事項が遵守された場合のみです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 制御ユニットが取り付けられる場合、制御ユニットの外形寸法に対する据え付けカットアウトの表面偏差が 0.5 mm 以下になる。

3.5 ネジによる固定

注記

12 インチタッチパネルの種類については、ネジによる固定ができません。

制御ユニットのドリル穴

<p>ドリルで穴を開けるためのステップ</p>	
1	<p>制御ユニットの 4 つの凹部で、背面からドリルで穴(直径約 2.5 mm)を開けます。</p> 
2	<p>M5 については直径 5.5 mm、M6 については直径 6.5 mm の穴を開けます。</p>
3	<p>制御ユニットの前面から穴の面取りをします。</p>

<p>通知</p> <p>破損のリスク</p> <p>穴を開ける際に金属切断片が装置に入っていないことを確認してください。フィルムで装置を覆うか、あるいは穴を開ける際に吸引によって除去してください。</p>

取り付けユニットのドリル穴

1. 作成された据え付けカットアウトで、L3 および L4 に関する情報に従ってドリルで穴を開けます。(「据え付けカットアウト」の章を参照)。
2. 前面から作業し、装置を回転アームの 19 インチラックまたは制御キャビネットの据え付けカットアウトに差し込みます。
3. 適切なネジとナットを差し込んで、制御ユニットを固定します。

IP54 保護等級

保護等級 IP54 は、リングシールを付けた取り付けに対して保証されます。

 注意
取り付け時のパネルシールへの注意 装置を取り付ける際にパネルシールを破損しないようにしてください。
通知
制御キャビネットの設置:据え付けカットアウトの材料強度 据え付けカットアウトの材料強度は、最小 2 mm、最大 6 mm になるようにしてください。「据え付けカットアウトの作成」のセクションにある寸法の仕様に従ってください。 保護等級が保証されるのは次の事項が遵守された場合のみです。 <ul style="list-style-type: none">• 制御ユニットが取り付けられる場合、制御ユニットの外形寸法に対する据え付けカットアウトの表面偏差が 0.5 mm 以下になる。

3.5 ネジによる固定

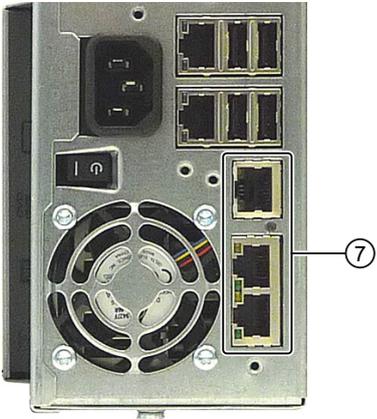
接続

4.1 接続エレメント

ポート

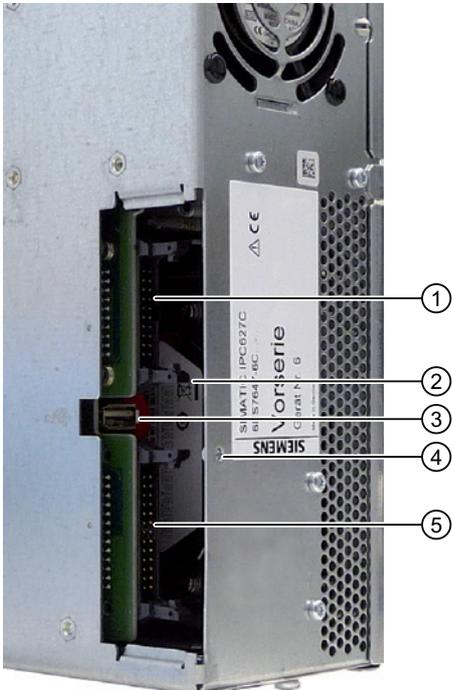
装置前面のポートの配置		
品目	説明	説明
①	DVI/VGA	DVI ポート装備の CRT または LCD モニタ用 DVI/VGA 接続、DVI/VGA アダプタ経由 VGA
②	CompactFlash カード	CompactFlash カード用スロット
③	COM	シリアル V.24 ポート
④	USB 2.0	USB デバイス用 4 ポート (大電流として 2 ポートのみ同時使用が可能)
⑤	ETHERNET	10/100/1000 Mbps 用 RJ 45 Ethernet 接続×2
⑥	PROFIBUS/MPI	MPI ポート(RS485、絶縁型)、オプション D-sub 9 ピンソケット(オプション製品モデル)

4.1 接続エレメント

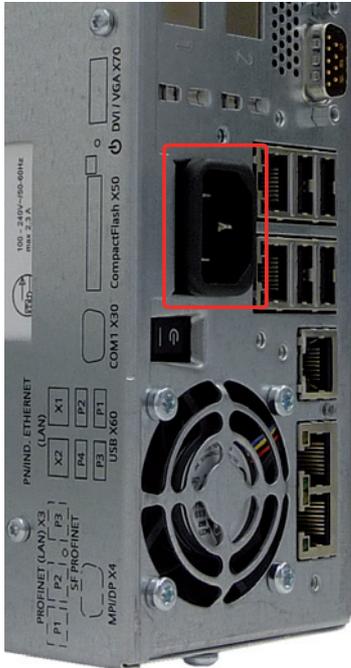
装置前面のポートの配置			
	⑦	PROFINET	CP 1616 オンボードポート、RJ45 ソケット 3 個(オプション製品モデル)

デバイスで使用できるポートは、それぞれの番号によって一意に識別できます。ただし、オペレーティングシステムの番号は、これとは異なることがあります。

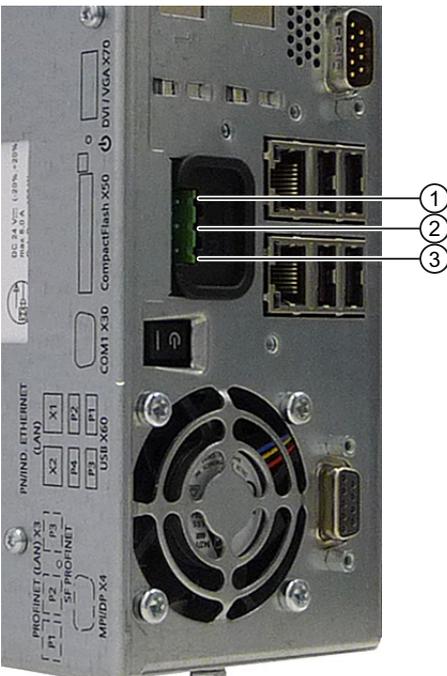
オペレータパネルディスプレイ接続用ポート

ポートの配置	
	① 1024×768 ピクセルまでの TFT ディスプレイ用 LVDS ディスプレイポート
	② 1280×1024 ピクセルまでの TFT ディスプレイ用二次 LVDS ディスプレイポートへのアクセス
	③ フロント用 USB 2.0
	④ 以下に記載したポートをカバーするスチールカバープレート用固定ネジ。
	⑤ フロント機器接続用 I/O ポート

AC 電源

IEC 電源コネクタの位置	説明
	<p>装置の AC 電源への IEC 電源コネクタ。最大許容電源電圧範囲は 100 V AC~240 V AC です。</p>

DC 電源

DC 電源コネクタの位置	説明
	<p>装置の DC 電源用プラグコネクタ</p> <ul style="list-style-type: none"> ① + (24 V DC) ② - (接地) ③ PE (接地端子)

4.2 100 - 240 V AC 電源の接続

装置接続前の注記

注記

可変電圧電源モジュールは、120/230/240 V AC ネットワークでの動作用に設計されています。電圧レンジの設定は、自動的に行われます。

警告

雷雨時に、電源やデータケーブルを接続したり外したりしないこと。

警告

本装置は、接地されている電源ネットワーク上で動作するように設計されています (VDE 0100、パート 300 または IEC 60364-3 の TN ネットワーク)。
接地されていない、あるいはインピーダンス接地されている電源ネットワーク (IT ネットワーク) 上で動作させることは禁止されています。

警告

装置の許可されている公称電圧が、地域の主電圧に適合する必要があります。

注意

装置を主電源から完全に絶縁するには、主電源コネクタを切り離す必要があります。このエリアへ簡単にアクセスできるようにしておきます。
装置をスイッチキャビネットに据え付ける場合は、マスタ電源の切断スイッチを取り付ける必要があります。
装置の電源プラグには、常に自由/簡単に接続できるようにします (ビル設置の安全な電源コンセントが、自由に接続可能な装置付近に配置されるようにします)。

注記

電源には、EMC ガイドラインに適合する有効な PFC (力率補正) 回路が組み込まれています。

無停電 AC 電源システム (UPS) は、アクティブ PFC 搭載の SIMATIC PC と併用したときに、標準モードおよびバッファリングされたモードで正弦波の出力電圧を供給する必要があります。

UPS の特性については、標準の EN 50091-3 および IEC 62040-3 に記載、分類されています。標準モードおよびバッファリングされたモードで正弦波の出力電圧を持つ装置は、「VFI-SS-....」または「VI-SS-....」の分類で識別されます。

地域情報

アメリカおよびカナダ以外の国について:

230 V 電源電圧

この装置は、安全性試験実施済みの電源ケーブルを装備しています。このケーブルは、接地端子付コンセントへのみ接続することができます。このケーブルを使用しない場合は、次のタイプのフレキシブルケーブルを使用する必要があります。最小導体クロスセクション 18 AWG、15 A/250 V の耐震コネクタ。ケーブル設定は、システムを取り付ける国の安全規則と規定 ID に準拠する必要があります。

アメリカおよびカナダ:

アメリカおよびカナダでは、CSA 規格または UL 規格に掲載された電源コードを使用します。

コネクタは NEMA 5-15 に準拠している必要があります。

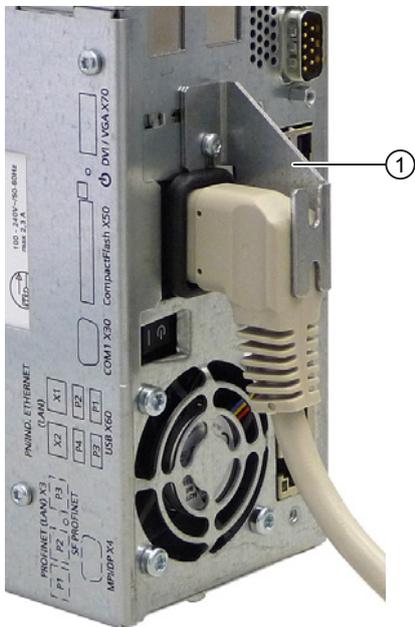
120 V AC 電源

使用するのには、UL 規格認定で CSA ラベル付きのフレキシブル電源コードで、それには以下の特徴があります。3つの導線付き SJT タイプ、最小 18 AWG 導体クロスセクション、最大長 4.5 m で 15A のパラレル接地接触コネクタ、最小電圧が 125V。

240 V AC 電源

UL および CSA 規格認定のフレキシブル電源コードを使用します。このコードには以下の特徴があります。導体が 3 芯、導体クロスセクションが最小 18 AWG、長さが最大 4.5 m、接地端子付くし型コネクタ(15 A、最小 250 V)を備えた、SJT タイプ

接続

120 V AC/230 V AC 電源に装置を接続するには	
<p>1 装置が誤って起動するのを防ぐために、電源コードのプラグを差し込むときは、ON/OFF スイッチが「0」位置 (OFF)にあることを確認してください。</p>	
<p>2 IEC コネクタを接続します。</p>	
<p>3 電源コードを電源ソケットに接続します。</p>	
<p>4 必要に応じて、付属の電源プラグのラッチ①を使用して、ケーブルを固定します。</p>	

4.3 (24 V) DC 電源の接続

装置接続前の注記

 警告
<p>装置は、安全特別低電圧(SELV)の要件を満たす 24 V DC 電源系統にのみ接続します。さらに保護導線を接続する必要があります。短絡によってケーブルが焼損しないように、導線は 24 V DC 電源の短絡電流に耐えられるものでなければなりません。1.3 mm² の最小クロスセクション(AWG16)および 3.3 mm² の最大クロスセクション(AWG12)を持つケーブルのみを接続します。</p>
通知
<p>24V DC 電源は、装置の入力データに適合させる必要があります(仕様を参照)。</p>

接続

装置を 24 V DC 電源に接続するための手順		
1	ON/OFF スイッチが'0' (OFF)位置になっていることを確認して、24 V 電源に装置を接続する際、装置が誤って起動するのを防ぎます。	
2	24 V DC 電源のスイッチを切ります。	
3	DC 電源プラグを挿入します。 ① DC 24 V ② 接地 ③ 保護導線	
4	必要に応じて、付属の電源プラグのラッチを使用して、ケーブルを固定します。	

4.4 等電位ボンディング回路の接続

注記

逆極性保護

DC 電源(24V)には、逆極性に対して保護する機構があります。24 V DC ラインが逆転(24 V DC 公称 (-15% / +20%))して接地接続されても、装置は少しの損傷も受けません。装置は起動できないだけです。電源が正しく接続されると、装置は再び操作可能になります。

4.4 等電位ボンディング回路の接続

低抵抗接地接続により、外部電源ケーブル、信号ケーブルまたは I/O モジュールへのケーブルによって生成される干渉信号は、安全に大地に放電されます。

装置の等電位ボンディング接続部は装置の下部に配置され、次のシンボルによって識別されます。



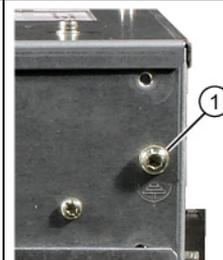
図 4-1 等電位ボンディング

等電位ボンディング回路の接続

等電位ボンディング導体を接続するには、TORX T20 スクリュードライバが必要です。

等電位ボンディングの接続ステップ

- | | |
|-----|--|
| (1) | 装置の等電位ボンディング接続部(M4 ネジ) (1) (大表面、大面積接点)を制御キャビネットの集中接地点に接続します。
最小許容断面積は 5 mm ² です。 |
|-----|--|



試運転

5.1 装置の電源スイッチ投入

手順

1. 外部 AC または DC 電源をオンにします。
2. 外部キーボードとマウスを接続します。
3. 電源コネクタの隣にあるスイッチを使用して、装置の電源をオンにします。
4. 「POWER」LED が点灯します。装置が起動してブートします。

セルフテスト

電源投入後、装置はセルフテストを実行します。セルフテスト中に、「Press <F2> to enter SETUP (セットアップ画面を表示するには<F2>を押してください)」というメッセージが短時間表示されます。この初回起動時には、このキーは押さないでください。

セルフテストが終了すると、オペレーティングシステムがロードされます。これは画面に表示されます。

5. SIMATIC Panel PC に追加のハードウェア (PCI カードなど) をインストールする場合は、その前に一度、追加のハードウェアがない状態で装置を起動してください。

5.2 Windows XP、Windows 7 セキュリティセンター

Windows セキュリティセンターからの警告

セキュリティセンターからの警告は、最初に装置のスイッチを入れたときに表示されません。セキュリティセンターは、以下にリスト表示された 3 つの重要なセキュリティ事項に関してデバイスの状態をチェックします。問題が検出されると(例: 期限の経過したアンチウイルスプログラム)、セキュリティセンターは警告を出して、デバイスを保護するための提言を発信します。

- **ファイアウォール: Windows** ファイアウォールは、ネットワークをブロックしてデバイスを保護するか、未許可のユーザーによるインターネットを介したデバイスへのアクセスから保護します。Windows は、デバイスがソフトウェアファイアウォールで保護されているかを確認します。
ファイアウォールは、工場出荷時設定の状態でも有効になっています。
- **アンチウイルスソフトウェア:** アンチウイルスプログラムは、ウイルスやその他のセキュリティの脅威を検出して消滅させることで、デバイスの保護を強化します。Windows は、デバイスに完全版の最新アンチウイルスプログラムが実行されているかを確認します。
工場出荷時には、アンチウイルスソフトはインストールされていません。
- **自動更新:** 自動更新機能を使用することにより、Windows はデバイス用の最新の重要な更新を定期的に検索して自動的にインストールします。この機能は工場出荷時には無効になっています。
- **リアルタイム保護(Windows 7 のみ):** Windows Defender は、スパイウェアまたは望ましくないソフトウェアがコンピュータにインストールまたは実行されたときに、警告を表示します。プログラムが Windows の重要な設定を変更しようとしたときにも、警告が表示されます。

必要条件に応じて、セキュリティセンターを設定します。

5.3 Microsoft Windows オペレーティングシステムの設定

はじめに

装置の起動直後に、セットアップウィザードが表示されます。このウィザードは、オペレーティングシステムのパラメータを設定するために使用されます。

注記

Windows オペレーティングシステムのセットアップウィザードのダイアログは、地域によって若干異なります。

次のダイアログに切り替えるには、[>>]ボタンをクリックします。前のダイアログの入力を変更するには、[<<]ボタンをクリックします。

手順

1. Microsoft の使用許諾契約書に同意します。
2. オペレーティングシステムの地域設定は変更しないでおきます。必要な場合は、試運転後にオペレーティングシステムの地域設定を調整します。
3. 会社名とユーザー名を入力します。
4. 装置をネットワークに接続しようとしたときにこの PC 名が既に使われている場合は、識別できるように新しい PC 名を入力します。

オペレーティングシステムは自動的に再起動します。

システム設定が更新されます。デスクトップが設定されます。オペレーティングシステムの設定はこれで完了です。

5.4 追加アプリケーション

最初のコミッショニング

通知
追加のハードウェア(PCI インターフェースカードなど)をインストールする前に、装置をコミッショニングしてください。

- 「SIMATIC PC Wizard」プログラムはコミッショニング中に自動的に開始します。
- オペレーティングシステムの初回起動時に、ウィザードによって、装置固有のドライバとアプリケーションが自動的に設定されます。
- ハードウェアは自動的に検出されます。

手順

1. HMI デバイスを元の出荷時の設定で起動します。
2. 画面に表示される指示に従います。

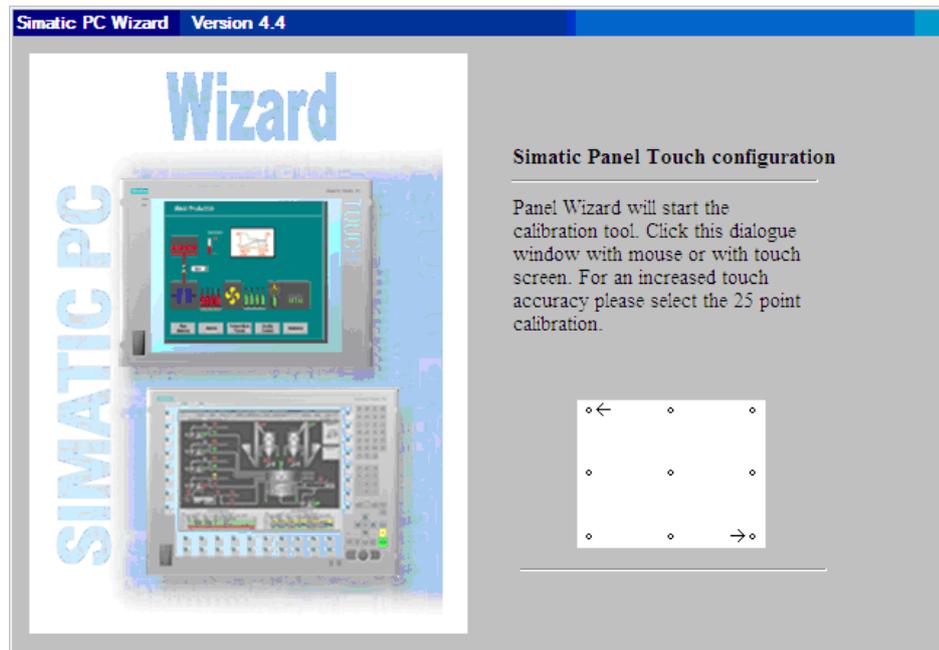
通知
誤動作 ソフトウェアのインストール中に HMI デバイスの電源をオフにしないでください。終了するまで指示に従ってください。 Windows オペレーティングシステムの種類によって、ダイアログが異なる可能性があります。



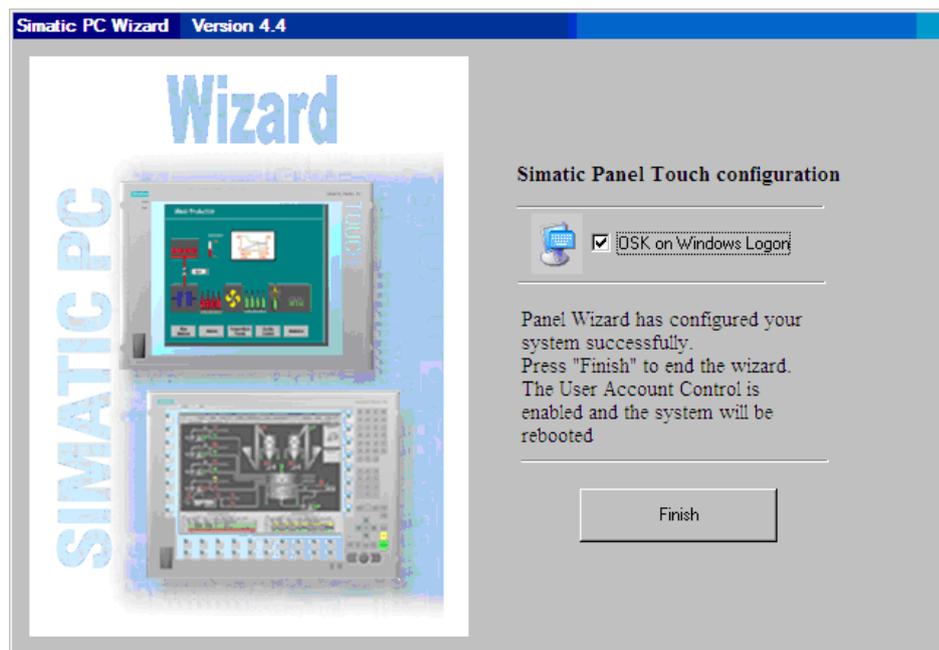
5.4.1 タッチパネルのセットアップ

注記

HMI デバイスのコンフィグレーションは、自動的に検出されて設定されます。ハードウェアの認識中に、タッチコントローラが再度検出され、入力されます。



1. 図に示されているように、選択されたポイントをタッチして、タッチスクリーンをキャリブレーションします。



5.4 追加アプリケーション

2. [Windows ログオン時の OSK]が有効になっている場合は、ログオンするたびに Windows 画面キーボードが表示されます。このキーボードを使用して、例えばパスワードを入力できます。[Windows ログオン時の OSK]オプションを無効にすると、Windows 画面キーボードは表示されません。その場合、ログオンするには外部キーボードが必要となります。

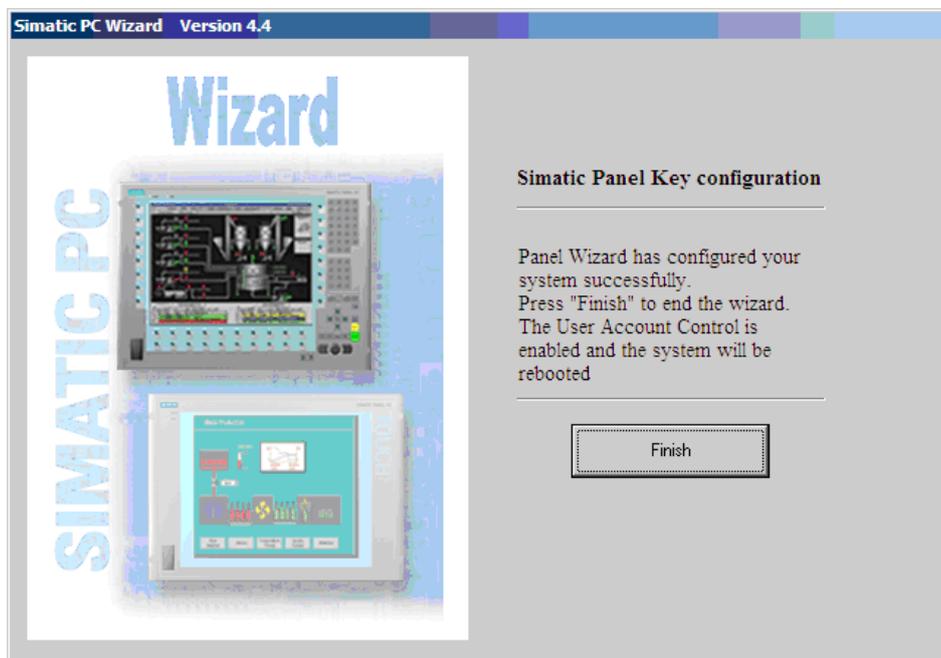
Windows 7 では、ユーザーアカウントのパスワードを割り当てるまで、Windows 画面キーボードは表示されません。

3. [終了]ボタンを使用してウィザードを終了します。HMI デバイスは、コンフィグレーション毎に自動的に再起動します。

5.4.2 キーパネルの調整

注記

HMI デバイスのコンフィグレーションは、自動的に検出されて設定されます。



1. [終了]ボタンを使用してウィザードを終了します。HMI デバイスは、コンフィグレーション毎に自動的に再起動します。

5.5 BIOS 設定

BIOS 設定[USB レガシーサポート]は、デフォルトで有効になっています。このため、Windows を起動する前に、USB キーボードの全機能が使用可能になっています。USB キーボードを使用して BIOS 設定を調整することもできます。

注記

タッチスクリーンに搭載されているオペレータデバイスで BIOS を編集するには、USB キーボードを接続してください。

5.6 USB

はじめに

USB インターフェースを介して市販の USB 周辺機器を容易かつ柔軟に接続できます。例えば、外部 USB キーボードや USB マウスなどを接続できます。USB キーボードに USB インターフェースが搭載されている場合は、USB マウスなどのその他の USB 周辺機器をキーボードに直接接続できます。

USB インターフェース

USB 周辺機器には、次のような複数のタイプのものがあります。

- 低電力型デバイス: 最大消費電力 100 mA (マウスやキーボードなど)
- 高電力型デバイス: 最大消費電力 500 mA (独立電源を使用するハードディスクやフロッピードライブなど)

注記

コンピュータユニット上の USB インターフェースには、一般的な USB 仕様が適用されます。

コントロールパネル上の USB インターフェースは、最大 1 つの追加 USB ハブ用として承認されています。

USB 周辺機器の使用

通知

USB デバイスの初回インストール時には、必要なデバイスドライバがあることを確認してください。

インテリジェント USB デバイスを取り外す際は、その前にダイアログ[ハードウェアの取り外し]を使用して、オペレーティングシステムでそのデバイスを無効にしてください。詳細については、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。

5.7 画面キーボード(タッチパネルデバイス用)

仮想画面キーボードによって装置を操作できます。仮想画面キーボードは、文字をタッチパネルに直接入力するために使用したり、外部接続されたマウスと併用したりできます。

[タッチ入力]の呼び出し

デスクトップで[タッチ入力]アプリケーションを開始します。画面キーボードが表示されます。



(1) 言語選択のためのボタン: ドイツ語、英語、イタリア語、スペイン語、フランス語

サービスおよびサポート

ローカル情報

ここで説明する製品について質問がある場合は、シーメンス社の担当 (<http://www.siemens.com/automation/partner>)までお問い合わせください。

SIMATIC 製品の技術マニュアル

SIMATIC製品やシステムに関する追加文書はインターネットにもあります: SIMATICガイドマニュアル (<http://www.siemens.com/simatic-tech-doku-portal>)

ショッピングセンターでの簡単なショッピング

オンラインカタログおよび注文システムは、次のインターネットページにあります:
産業オートメーションおよびドライブテクノロジー
(<http://mall.automation.siemens.com>)

トレーニングセンター

トレーニングオプションはすべて、以下に記載されています。
SITRAINホームページ (<http://www.sitrain.com>)

テクニカルサポート

すべての産業オートメーションおよびドライブテクノロジー製品に関するテクニカルサポートの連絡先は:

- 電子メール: support.automation@siemens.com
- インターネット: オンラインサポートのリクエストフォーム:
(<http://www.siemens.com/automation/support-request>)

カスタマーサポートにお問い合わせの際は、以下の技術情報をご用意ください。

- BIOS のバージョン
- 装置の注文番号(MLFB)
- インストールされているその他のソフトウェア
- 取り付けられている追加ハードウェア

オンラインサービスとサポート

以下のサイトで、製品に関する情報から、サポート&サービス、技術フォーラムに至るまでご覧いただけます。産業オートメーションおよびドライブテクノロジー - ホームページ (<http://www.siemens.com/automation/service&support>)

SIMATIC PC/PG のアフターサービス情報システム

お問い合わせ先、ドライバ、BIOSの更新、FAQおよびカスタマーサポートについては、以下を参照してください。SIMATIC PC/PGのアフターサービス情報システム (<http://www.siemens.com/asis>)

索引

2

24 V DC電源, 19
接続, 23

A

AC電源, 19

B

BIOS, 31
BIOS設定, 31

C

CompactFlashカード, 17

D

DVI/VGAポート, 17

E

ETHERNETポート, 17

I

IEC電源コネクタ, 19

P

PCウィザード, 28
PROFIBUS/MPIポート, 17

S

SIMATIC PC Wizard, 28
開始, 27
開始画面, 28

U

USB, 31
USBポート, 17
USB周辺機器, 32

V

VGAポート, 17

W

Windowsセキュリティセンター, 26

あ

アンチウイルスソフトウェア, 26

い

インターフェース
USB, 31

う

ウィザード, 28

お

オペレータパネル, 18

し

シリアルポート, 17

せ

セルフテスト, 25

た

タッチコントローラ, 29

て

ディスプレイポート, 18

ふ

ファイアウォール, 26

ほ

ポート, 17

COM, 17

ETHERNET, 17

PROFIBUS/MPI, 17

USB, 17

VGA, 17

オペレータパネル, 18

漢字

安全に関する情報, 5

開始画面, 28

SIMATIC PC Wizard, 28

最初のコミッショニング, 27

周辺機器, 32

修理, 6

接続, 5

120/230 V AC電源, 20

24 V DC電源, 23

電氣的接続, 5

接続機器, 17

地域情報, 21

注記, 5

安全に関する情報, 5

電源, 20

IEC電源コネクタ, 19

電源電圧, 21

等電位ボンディング, 24

保証, 6

放射, 6

高周波放射, 6